

Anniversary 0th

報はまゆうがついに700号!

1963年の創刊から「はまゆう」は、濱田重工グループ全体の情報を知る貴重なツールとして発行され続け、おかげさまで創刊700号を迎えることができました。今月号では、創刊号から700号までの歴史や編集工程、はまゆうのこれからについてご紹介します。



祝・創刊700号
永年勤続表彰受賞者が登場

「今月の表紙」

- 11 永年勤続表彰受賞者(表紙掲載者)
- 10 はまゆうのこれから
答えて当てよう!
はまゆうクイズ

- 9 7人のはまゆうメッセージ
- 8 ハロちゃんが教える!
発行までのアステップ
- 4 1-22年の会社の成長と共に
皆で創り上げた700冊

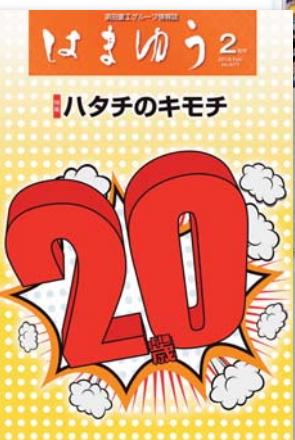
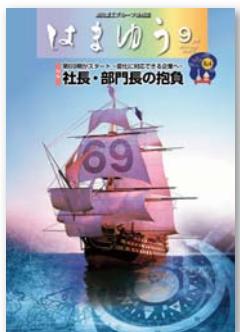
2 Hamayu 700th Anniversary

はまゆう
6
2020年 Jun.
No.700
CONTENTS

Hamayu 700th

70

1963年7月に創刊した社内



「はまゆう」の名前は、2代・濱田満寿次社長が、「濱田の友」という意味と古歌などに使われている「浜木綿」という草の名の2つをかけて名付けたものです。装丁は変化しても、タイトルの「はまゆう」の文字だけは、満寿次社長が創刊号に揮毫したものそのまま使い続けており、創刊以来、毎月発刊されています。

「はまゆう」の名前は、2代・濱田満寿次社長が、「濱田の友」という意味と古歌などに使われている「浜木綿」という草の名の2つをかけて名付けたものです。装丁は変化しても、タイトルの「はまゆう」の文字だけは、満寿次社長が創刊号に揮毫したものそのまま使い続けており、創刊以来、毎月発刊されています。

「はまゆう」は、創業65周年を迎えた1963(昭和38)年7月10日に創刊。八幡製鐵所の所内報「くろがね」を手本に、当時、社会的に主流だったタブロイド版として制作されました。このスタイルは2010(平成22)年12月号(594号)まで、47年間にわたり継続しましたが、時流とともにA4サイズ化、また読みやすさを求め、2012(平成24)年8月にはオールカラー化と変化してきました。

**1963年
社内報はまゆう創刊。
はまゆうの由来とは?**

122年 の会社の成長と共に

皆で創り上げた700冊

はまゆうは、経営方針や全社のニュースをはじめ、隠れた優秀な社員や目覚ましい活躍をしている職場、さらには家族を主役にする場でもあります。はまゆうの歴史と過去の記事にフォーカスします。

創業

日本初の社内報
「鐘紡」誕生

待望の社内報
創刊号発刊

社名変更
濱田組から濱田重工となる

100号



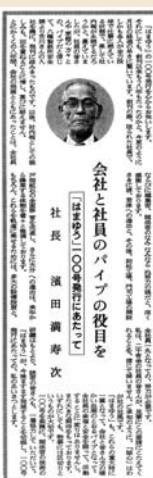
1971

1969

1963

1903 1898

100号 1面



1号 1面



会社と社員の パイプの役目を

濱田 满寿次社長が、創刊100号、創刊以来8年が経過したことなどを記念してメッセージ。支店開設や設備投資が相次ぎ、全社的に多忙な時期でしたが、はまゆうで会社の発展の状況を伝えるなど、重要な役割を担っていました。

11号 2面



402号 3面



バイレン塔 (1964年～掲載中)

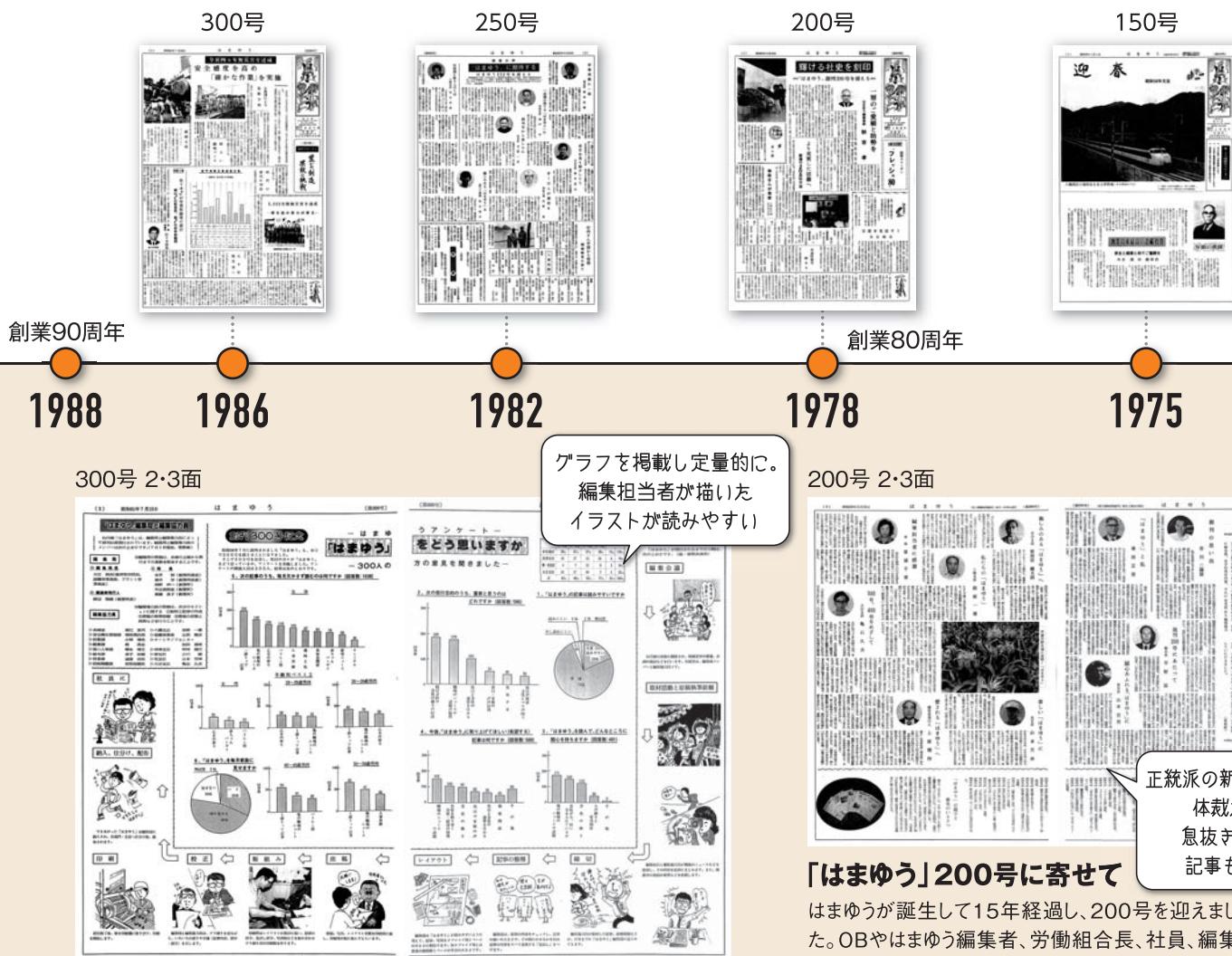
管理職が、世の中のニュースや仕事、プライベートを通じて思うことを自由に執筆する人気コーナー。時代に合わせて連載企画のテーマは見直されていますが、バイレン塔(通算629回掲載)は現在も連載されています。

乙女の祈り (1976年11月号～1994年12月号)

女性社員の仕事とプライベート、将来の夢について紹介。男性社員が多い当社のなかでの恋やしのコーナーで200人が登場しました。

当時の
人気連載企画





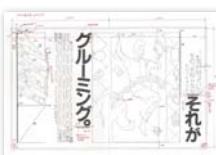
はまゆう300人の社員アンケート「はまゆう」をどう思いますか 「はまゆう」のできるまで

社員300人に対するはまゆうの読者アンケート結果をはじめ、はまゆうができるまでの制作工程が分かりやすく紹介されました。

step.4

版下完成! 印刷へ

完成した版下には、トレンシングペーパーが重ねてあり、色や印刷の細かな指示が記載されています。パソコンで簡単に確認できない当時、この指示は、制作者と印刷現場をつなぐ、大切なコミュニケーションツールでした。



step.3

版下制作

続いて、印刷の原稿となる「版下」を作成します。台紙に、トンボやレイアウトに必要なアタリ罫を引き、それとともに、写植で印字した文字や写真を切り貼りして作成します。



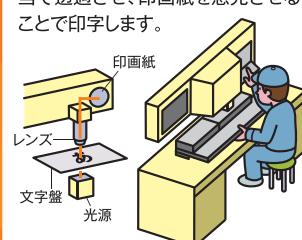
Olive (オリーブ) 創刊号1982/6/3号
平凡出版(現マガジンハウス)より



step.2

写植

文字は「写真植字(=写植)」という技術で印画紙に印字。文字盤に光を当て透過させ、印画紙を感光させることで印字します。



写植機 文字盤

\Topics /

昔の印刷アレコレ

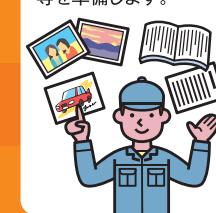
印刷原稿制作の流れ(1960~1990年代)

現在の印刷物は、大半がパソコンを使って制作されています。しかし、20年ほど前まで印刷物は「写植」という技術をはじめ、種々のアナログな工程を経て版下とよばれる印刷原稿が制作されていました。

step.1

原稿を準備する

誌面の構成や掲載する文字、写真、イラスト等を準備します。



写植機 文字盤

590号



564号



500号



400号



創業100周年

2010

第62期がスタート

2008

創業110周年
座談会の
人選にも
力を入れた
企画

2003

1998

1994

創刊号から
家族も登場

500号 2・3面



400号 4・5面



“はまゆう”500号記念座談会

1000号へ、愛される「はまゆう」を目指して

創刊号の編集に携わられた方やはまゆうに深いかかわりを持ってこられた役員・社員・OBに思い出を語っていただいた座談会。発展期の会社を支え、はまゆうの礎を築いた皆さんのが集まり、編集の苦労話や今後の社内報に求めることを聞くことができました。

創刊400号記念特集“はまゆう”今昔物語

過去にはまゆうに登場した家族を数十年ぶりに紹介。「乙女の祈り」に登場し、その後、社内結婚された幸せな家庭の姿とお子さんの成長を載せたことがアットホームで好評でした。

478号 4面



赤ちゃんパンザイ

(1969年7月号～2002年12月号)

我が家のアイドル

(2003年1月号～2012年12月号)

「赤ちゃんパンザイ」は、多くの社員のお子さんに登場していただいたロングセラー企画。その後、対象を赤ちゃんから6歳までに引き上げ、ご家族の記念となる誌面になりました。

478号 4面



I LOVE MY CAR

(2000年12月号～2002年12月号)

男性社員に人気だった愛車紹介のコーナー。その車を購入するに至ったポイントや特徴などを紹介しました。現在「みんなでワイガヤ」の連載コーナーでも、時折、愛車紹介を掲載しています。

469号 2面

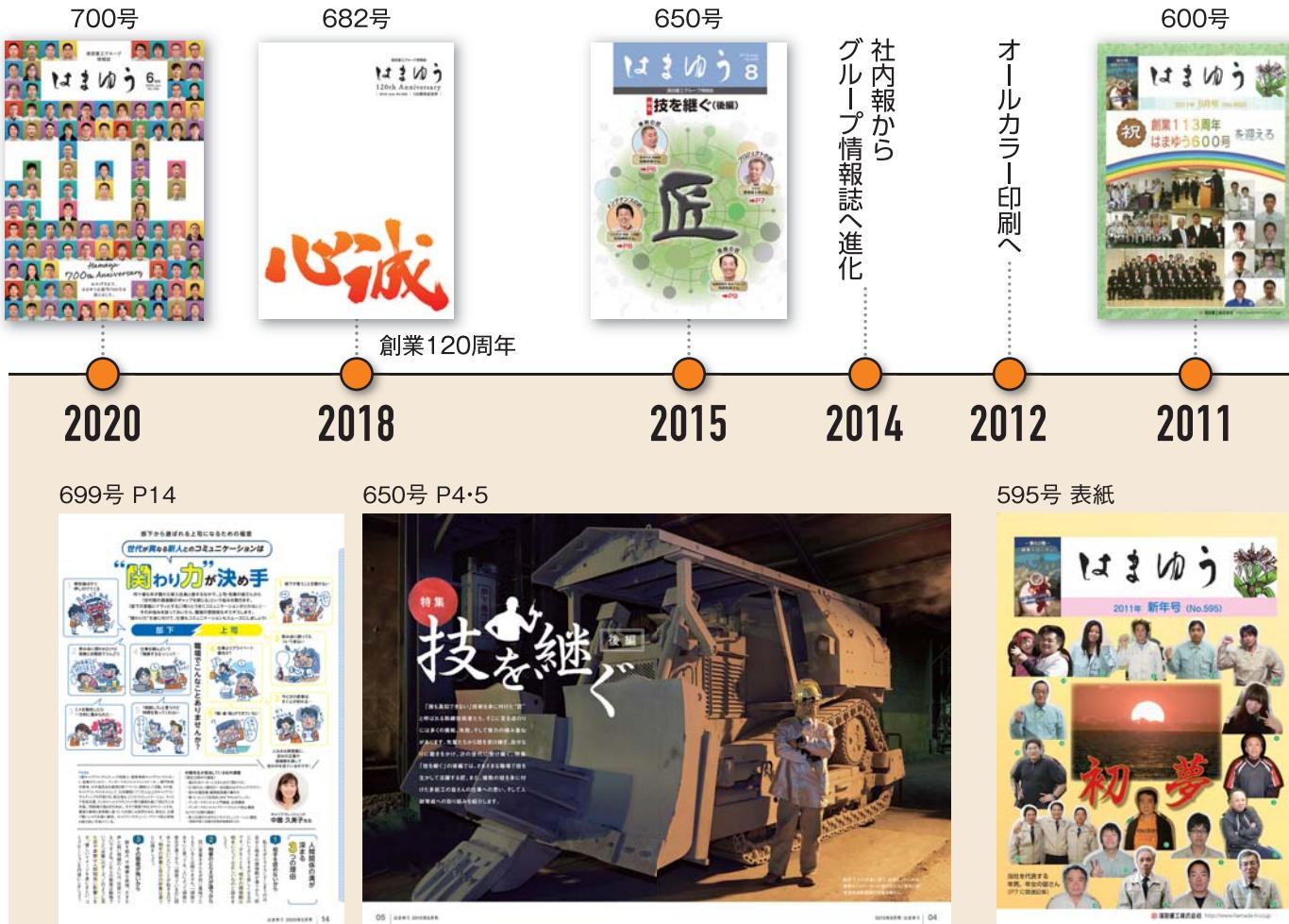


THE 現場

(1999年8月号～2005年2月号)

各部門の現場で活躍されている社員を紹介した企画。毎月、はまゆう担当者が現場に赴き、仕事内容や取り組み、社員の人となりにフォーカスしています。当社の現場力を誌面で訴求した企画でした。

**当時の
人気連載企画**



企画重視の社内報へ 「社員の悩み解決」「当社の課題」を取り上げることが編集方針

時流に沿った企画を立案し、好事例となる職場や社員を定量的・定性的に人選した上で取材して、写真・イラストを多用したビジュアル重視で紹介しています。また、社外にも目を向け、他社の取り組みや有識者のコメントを紹介することで、読者に役立つ企画を多角的に掲載することを目指しています。読者の皆さんに、より楽しんでいただけるよう写真・イラストを活用し、また文字数・ページ数も検討することが今後の課題です。

タブロイド版から 雑誌型A4サイズに

2011年1月号から、雑誌型A4サイズの社内報にリニューアル。印刷業界の技術の進歩に伴い、カラー印刷が安くなったことから、2012年8月号からオールカラーへ進化しました。

**2013年
10月命名**

ココちゃんの名付け親の西村 康宣さん(君津支店 管理部/写真右)と吉松 幸代さん(シリコンウェハー事業部 生産管理グループ/写真左)

また、創業120周年のC-I活動の一環として、胸元の会社ロゴをリニューアル。社内の制作物に「ココちゃんが登場するようになり、みんなを楽しませています。

「個々を大切にする」という思いも込められています。

ココちゃん誕生!

TOPICS / ココちゃん誕生!

ココちゃんは
フリー素材です!

684号 裏表紙



699号 裏表紙



見つけた! Kirari 輝く人

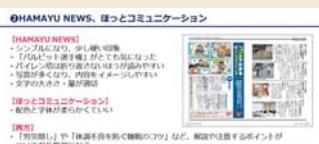
(2015年3月号～掲載中)

将来を担う10代・20代を毎月1人掲載。前向きに仕事を頑張り、成長している社員から選び、一人ひとり取材してON・OFFの充実した姿を紹介しています。若者に一番読まれている人気企画のひとつで、今後も継続します。

スタート

編集会議

毎月、本社の編集局員・編集協力員が集まり、直近号の反省と3ヵ月先の掲載号の企画やニュースの検討を実施。本社・部門の編集協力員経由で、多くのグループ員にアンケートを行い集計・分析して、前号の反省や今後に生かします。



社員からのアンケート結果は必ずフィードバック。新企画が生まれることも!

年間・月間の企画立案

はまゆう編集担当者が、毎年秋に翌年1年分の大特集と定例企画のテーマを考えます。

毎月の大特集は、掲載の3~4ヵ月前から企画の切り口を多角的に深堀。専門書を何冊も読んだり、セミナーで勉強したりもしますが、社内の専門部署と協議して情報を得たうえで、企画を磨くことがポイントです。

年	月	企画名	担当者	状況
2020	1月	年始大掃除	○○○	実施
2020	2月	年賀状	○○○	実施
2020	3月	春の花見	○○○	実施
2020	4月	新規取引開拓	○○○	実施
2020	5月	労働安全衛生月間	○○○	実施
2020	6月	夏季休業	○○○	実施
2020	7月	夏祭り	○○○	実施
2020	8月	秋の花見	○○○	実施
2020	9月	秋の収穫祭	○○○	実施
2020	10月	年次定期検査	○○○	実施
2020	11月	冬の花見	○○○	実施
2020	12月	年次総会	○○○	実施

2020年の企画スケジュール資料



ココちゃんが教える!

発行までの7ステップ

「はまゆうは、どんな工程で制作されているの?」という質問があるため、発行までの流れをご紹介します。皆さんのご協力で、1冊が完成しています。

取材と原稿作成

部門の編集協力員に、企画書をベースに人選を依頼。編集担当者が各職場に赴いて社員を取材し、記事を作成します。定例企画は、寄稿依頼。「誰に読ませたいのか?」「どんな気持ちになってほしいのか?」など、ターゲットとゴールを考えて、記事を作成します。



取材内容を整理し、内容が正しく伝わるように原稿作成

はまゆうに先駆け ホームページのブログと 本社デジタルサイネージで情報発信

はまゆうで掲載するニュースの一部は、即時性があるホームページのブログ「まごころ通信」で先に掲載。本社の来客者向けにはデジタルサイネージで発信しています。



閲覧率の高い「まごころ通信」



ビジュアル重視のデジタルサイネージ

印刷・納品

印刷して毎月15日に社員や株主、OB、取引先に配付。



完成!

校正

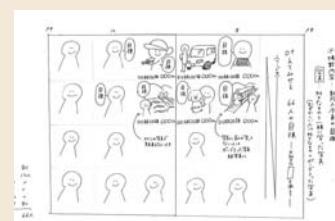
印刷所から納品されたゲラ刷りを見ながら、校正(記事内容、誤字・脱字確認)を行います。本社の役員と編集協力員で総チェック。



社員の名前と技術情報・知的財産に関わることを特にチェック

記事のレイアウト

読みやすさと情報の優先度を考え、全ページ手書きでレイアウトを作成。外部のデザイナーに、目指す誌面の意図を伝えるため、この工程を大切にしています。



新成人紹介は明るく楽しくなるようラフレイアウトを作成



意外な発見を楽しめろ

- A1.最近は「ココちゃんの課外授業」を楽しみにしています。思わず「へえ～」と口に出してしまう内容で、楽しいです。
- A2.社員の方々の活躍が分かること。意外な発見もあり、コミュニケーションのきっかけになります。
- A3.クロスワードパズルやクイズの企画を作り、賞品がもらえるようにしてほしいです。



光支店 整備・工事課
大場 達矢さん

祝700号
MESSAGE

7人のはまゆう メッセージ

読者の皆さんから、
メッセージをもらいました。

- Q1** よく読んでいる企画
- Q2** 社内報があつてよかったこと
- Q3** 今後はまゆうに期待すること

魅力を120%伝える社内報へ

- A1.「3分でわかるコンプライアンス」や昨年から始まった「ココちゃんの課外授業」は毎月楽しみにしています。
- A2.社内のことがよく分かり、他部門で働く社員の方々と情報を共有できることです。
- A3.これからも社員やご家族、お客さまへ、わが社の魅力を120%伝えるための社内報づくりを頑張ってください。私も社内報に負けないよう、日々の業務に取り組みます。



八幡支店 コークス課
新原 亮一郎さん



八幡支店 製鋼課
亀田 大介さん

家族とのはまゆうタイム

- A1.よく家族と「3分でわかるコンプライアンス」「慶弔ニュース」を読みます。長男の写真が載った号は、今でも大切に保管しています。
- A2.研修で苦楽を共にした他部門の仲間の活躍が分かることです。また、自分の写真が載ったときは、子どもと「パパ探し」を楽しみます。
- A3.マンガやイラストが多く、読みやすいです。これからもみんなに愛されるはまゆうになってもらいたいです。

社員を知るツーリーに

- A1.「新入社員特集」や「新成人特集」、連載「見つけた!Kirari輝く人」がいつも楽しみです。
- A2.社員の活躍を知ることができたり、自分のことをみんなに知ってもらえてたりすることです。
- A3.これからも、社内での出来事や社員の活躍をたくさん伝えてください。創刊1000号を目指して頑張ってください!



君津支店 製鋼スラグ課
藤本 真澄さん

職場の情報をキャッチ

- A1.わりと「慶弔ニュース」を楽しんでいます。特に同期や後輩の結婚・誕生のニュースは、独身としては“気になる”ところです。
- A2.現職場や転勤前の職場の情報を見て、自分も頑張ろうとする気をもらっています。
- A3.今後も社員の情報が分かるような記事をお願いします。



シリコンウェハー事業部
管理グループ
石井 潤之助さん

先輩との話題につながる

- A1.「見つけた!Kirari輝く人」です。若手の方を中心に掲載されており、年の近い先輩の私生活を知ることができるので、楽しいです。
- A2.先輩方との共通の話題や趣味が見つかったり、おいしそうなご飯が見つけられたりして、うれしいです。
- A3.これからも面白い記事を期待しています。



大分支店 管理グループ
姫野 誌月さん



産機事業部
プラント機械設計グループ
園元 宏幸さん

歴史から学ぶ ハマダプライド

- A1.特集と連載「はまゆうで綴る120年史」です。「資格で拓ける未来」の特集は、自分を見直す参考になりました。
- A2.各部門の取り組みが分かること。特に「はまゆうで綴る120年史」vol.6・7では自部門の実績も分かり、設計業務でお客さまから信頼を得るために必要な、スキルや思いを再確認できました。
- A3.事業部内でも、読んでいる方が多くいます。今後も継続して発行してほしいです。

誰かのためになる誌面が目標

はまゆうは、歴史を記録する役割を担い、「120年史」の編さん際

にも、情報源として役に立つ存在でした。

「インターネット」「グローバルポータル」では、1963年の創刊号から2020年の最新号まで、700号分のバックナンバーを掲示しています。社歴が長い社員は懐かしい気持ちで振り返り、若手社員にとっては新鮮な情報を見ることができると思いますので、閲覧ください。

全社の採用活動やOBA会の素材としても、はまゆうは二次使用されています。はまゆうに掲載された写真を「社外で二次使用」される際には、はまゆう編集局までご連絡をお願いします。



経団連事業サービス 社内広報センターが発行する会員情報誌「コミュニケーション シード2020年3月号」にはまゆう編集局の思いが取り上げられました

はまゆう編集局・協力員・社員が一丸となり、充実した誌面へ

創刊700号を機に、はまゆうを読み返してみると会社の成長の軌跡が見られ、当時の社員や家族の様子、会社の雰囲気を感じ取ることができます。現代のようなパソコンやネット環境、印刷技術がない時代に、情報満載の「はまゆう」を発行されてきた歴代の編集担当者に敬意を表します。

仕事の要求が上がっている今の時代だからこそ、他部門、他のグループ会社が行っている事業や活動の取り組みなどを皆さんに意識してもらえるように、横のつながりを意識して編集しています。今後も、全社の編集協力者と連携をとりながら、役立つ情報を発信し続けます。



はまゆう編集局

部門のはまゆう編集協力員

(中央) はまゆう編集局長 本社広報グループ長 高山博光さん	(右) はまゆう編集局長 本社広報グループマネージャー 古賀明日香さん	(左) はまゆう編集局 本社広報グループ 前田麗保さん
本社の役員・グループ長など、はまゆうの協力者一同で制作しています。		
山本果歩さん	アイコムソフト(株)	アイコムソフト(株)
宮村尚吾さん	ハマダテック社	ハマダテック社
山本君孝さん	大坂事業所 生産グループ	大坂事業所 生産グループ
柿山清次さん、三浦良彦さん	シリコンエーハー事業部 管理グループ	シリコンエーハー事業部 管理グループ
山本君孝さん	木宮巧智さん	木宮巧智さん
ハマダテック社	小島顕介さん	オートライフセンター
宮村尚吾さん	大庭謙治さん	大庭謙治さん
山本君孝さん	山本君孝さん	山本君孝さん
アイコムソフト(株)	山本君孝さん	山本君孝さん

